

第3回 勝海舟記念

下町(浅草) がん哲学 外来 シンポジウム

医療の隙間を埋める ～浅草からの発信～

特別講演 「なぜ、今、新渡戸稲造なのか？」(12:30～)

NPO法人がん哲学外来 理事長 順天堂大学医学部病理・腫瘍学 教授 樋野興夫

※講演 がん治療最前線

【ナビゲーター:安達昌子・倉持雅代】

① 今、血液の腫瘍の治療は？(12:45～)

東海大学医学部血液・腫瘍内科教授 安藤 潔(第2回がん哲学外来市民学会大会会長)

② 今、肺がんの治療は？

東京医科歯科大学呼吸器外科 石橋洋則

③ 今、乳がんの治療は？

三井記念病院乳腺内分泌外科部長,地域医療部部長 福内 敦

④ 緩和ケアの取り組み(浅草での実践)とまとめ

慶應義塾大学病院緩和ケアチーム,医療法人社団博腎会,野中医院 安達昌子

—— 休憩(14:05～) ——

リレートーク&パネルディスカッション

地域医療を担う医療者からのメッセージ、市民・地域からの声(14:20～)

【ナビゲーター:大森亜紀(読売新聞記者)・宮原富士子(がん哲学外来コーディネーター)】

① 佐久での取り組み(佐久がん哲学外来)

② がんと共に生きる人へのメッセージ(経験者の立場から)

③ 浅草地域での取り組み(訪問診療所医師,訪問看護師,薬剤師,ケアマネージャー等)

④ 地域とともに考える:行政・政治に関わる方たちからのメッセージ

大森亜紀さんからのメッセージとまとめ

◎朗読(15:30～)

内田淳子(女優)

◎「人は物語を創り出す生き物 生きる意味を考える」(15:45～)

佐久市立浅間総合病院院長 村島隆太郎

—— 全体討論とまとめ ——

平成24年
12/22 土
12:30～16:00(開場12:00)

場所

浅草三業会館

(浅草 柳通り見番 2階大広間)

東京都台東区浅草3-33-5

☎03-3874-3131

参加費
無料

対象 / "がん"とともに生きている方・家族の皆様、医療従事者、行政担当者、その他がん哲学外来に興味のある方

運営コアスタッフ 倉持雅代(看護師) / 土屋千雅子(薬剤師) / 宮原富士子(薬剤師) / 村上美恵子(看護師,ケアマネージャー)

主催:勝海舟記念下町(浅草)がん哲学外来・NPO法人Healthy Aging Projects For Women(HAP)

後援:NPO法人がん哲学外来

お問い合わせ先(担当:みやはら):TEL03-3876-1506 / FAX03-3876-9084